



WAWY通信

<前向きな息吹きをしよう！>

CONTENTS

1. 積み立て投資とは？
2. 積み立て投資は身近な存在？
3. 積み立て投資のメリット
4. 積み立て投資の力
5. 実際に始めるには？

◀福利厚生のご案内▶

熱海の宿泊施設 リゾートピア熱海



【部屋構成・価格】一部
スタンダード ¥8,100
(和洋室・5名定員)
デラックス ¥10,260
(和洋室・5名定員)

◀温泉大浴場完備▶

※1泊ルームチャージ
素泊りの価格です。

申込は、組合HP「福利厚生のご案内」よりPDF版申込書をプリントアウト願います。必要事項をご記入の上、組合事務所へFAXにてお申込ください。

積み立て投資の基礎知識

日頃より組合活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
今回のテーマは、積み立て投資です。年金問題や増税の事を考えると将来への不安が募り、焦燥感に駆られる人も多いのではないのでしょうか？ただ嘆くだけでは何も変わりません。解決策として、ただお金を貯めるだけではなく、戦略が必要になります。ライフステージの変化を見据えて年代に応じた積み立て投資を設計・実行しましょう！

1. 積み立て投資とは？



まず初めに「積み立て投資ってなに？」と思われるかも知れませんが、積み立て投資は「株」や「FX」のような商品の名前ではありません。こんな風にイメージすると分かりやすいと思います。お正月になると「福袋」を買う方は多いのではないのでしょうか？例えば、デパートの福袋には、バッグや洋服など色々入ってまとめて1万円で売っていたりします。積み立て投資の場合、福袋の中身はバッグや洋服ではなく、世界中の様々な資産（株式や債券など）です。この福袋を毎月のように買う事が、ちょうど積み立て投資のイメージと似ています。積み立て投資の世界では、この福袋のことを「投資信託」と呼んでおり、この投資信託を毎月コツコツと買って積み立てます。（投資信託の事を「ファンド」と呼ぶ事もあります）さて、それではこの福袋を買う事がなぜ、有効な手段となるのでしょうか？それは、福袋に入っている1つ1つの資産価格が上昇するからです。福袋の中には、株式や債券といわれる将来、利益が期待できる資産が色々入っています。世界の経済が成長することによってこれらの価格が上昇するのです。

2. 積み立て投資は身近な存在？



積み立て投資と聞くと、投資をした事のない方はちょっと身構えてしまうかも知れません。しかし、意外にもみなさん身近で投資をしています。私たちは会社から毎月、給与を受け取っていますが、それを将来に備えてコツコツと預金していると思います。また、海外旅行や車の購入など、まとまった出費に備えて預金を積み立てることもあるでしょう。先ほども出てきましたが、この「預金を積み立てる」というのは、広い意味では積み立て投資の一種です。「私はそんなマメな事していないよ！」という方でも、将来「年金」を貰うために毎月、給与から年金保険料が天引きされています。積極的な方法ではありませんが、これも将来に対する積み立て投資のようなものです。このようにして、私たちは意識しなくても何かしらの積み立てをしているのです。それでは、私たちが積み立てたお金はどうなっているのでしょうか？実は、私たちに代わって、年金運用の専門機関がさまざまな資産に分散投資しているのです。言い換えると、私たちは積み立てだけに専念し、運用部分は専門機関が代わりに行っているのです。こうして責任を持って運用がなされ、将来、年金として支払われます。ですから、積み立て投資は案外、他人事ではありません。ここまでで年金の仕組みがわかり、積み立て投資の事も少しずつ分かって頂いたでしょうか？本来、年金はリタイア後の生活を支える存在なので、それだけで生活費を賄えたらベストです。しかし、年金だけでは足りないことが想定される場合には、自らの意思で積極的にお金をつくる必要が出てきます。つまり、年金の保険料を毎月決まった金額納めるのと同じように「毎月、決まった金額をコツコツ運用して、自ら将来に対する備えをしましょう」ということです。積み立て投資は、「何にでもコツコツと取り組める」日本人の国民性から見ても向いていますし、非常にわかりやすい仕組みで、たいした手間も掛かりません。ですから、これまで投資とは縁がなかった方でもスムーズに受け入れられる方法ではないのでしょうか？次頁では、そのような積み立て投資について詳しくご説明致します。

3. 積み立て投資のメリット



積み立て投資の最大のメリットは、「買いのタイミングが分散できること」です。投資を始めるときに投資家は必ず次の3つの事を考えます。それは、「どんなもの（株式や投資信託など）」を「どのタイミング」で「どれだけ購入するか」です。これら3つの要素で運用成績の大部分が決まってしまうといっても過言ではありません。例えば、今が最高のタイミングだと思い、持っているお金の大半を投資したとしましょう。その直後に、リーマンショックや大規模災害などの想定外の事態に見舞われてしまったらどうでしょうか？この場合の投資は最初から大きくつまづいてしまいます。「最もよい投資タイミングはいつなのか？」は投資をするときには分かりません。できることなら一番安い価格で買いたいところですが、ベストな購入タイミングは買うときには分かりません。あとになってから振り返ってみると分かるものです。タイミングというのは、運用成績を左右する大事な要素にも関わらず判断が極めて難しいのです。大切な資産を不運という一言で失敗させてはいけませんので、大規模災害のような突発的な出来事にも耐えられる運用でなくてはなりません。このタイミングという問題を積み立て投資が解決してくれます。投資するタイミングは全く考えず、機械的に毎月購入するからです。毎月、同じ日に購入するので、時間の分散になりタイミングを悩む必要は全くありません。

4. 積み立て投資の力



まず、積み立て投資の力を知るために「銀行預金で積み立てた場合（いま現在、利子は殆どつかないので、利回り0%と仮定する）」どうなるかをシミュレーションしてみましょう。将来の老後資金として積み立てた場合、仮に65歳で2,000万円を目指すとする、毎月いくらのお金を積み立てればよいのでしょうか？(表1参照)

(表1) 積み立て預金 ※年間利回り0%の場合

貯金額/年齢	25歳	35歳	45歳	55歳
0円	4.2万円	5.6万円	8.4万円	16.7万円
100万円	4万円	5.3万円	8万円	15.9万円
300万円	3.6万円	4.8万円	7.1万円	14.2万円
500万円	3.2万円	4.2万円	6.3万円	12.5万円

例えば、35歳で現在の貯金額が300万円の方は毎月4.8万円ずつ積み立て預金を続ければ30年後の65歳で2,000万円のお金がつくれます。しかし、45歳・55歳となってくるとかなり大変です。この表からわかることは、できるだけ若いうちから積み立て預金を始めておけば、毎月の積立金額は少なく済むという事です。積み立て預金だけで目標が達成できればそれに越したことはありませんが、達成が難しいと感じる方は自分が働く以外にもお金の働いてもらう「積み立て投資」を検討する必要があります。

では、仮に3%の利回りを達成しながら積み立て投資ができたときはどうなるのでしょうか？(表2参照)

(表2) 積み立て投資 ※年間利回り3%の場合

貯金額/年齢	25歳	35歳	45歳	55歳
0円	2.4万円	3.8万円	6.5万円	14.8万円
100万円	1.8万円	3.0万円	5.6万円	13.4万円
300万円	1.1万円	2.2万円	4.5万円	11.4万円
500万円	0.4万円	1.4万円	3.4万円	9.5万円

表1と比較して頂くとよくわかりますが、年間利回りが良くなると積み立てる金額がかなり少なくなりました。先ほどの35歳で現在の貯金額300万円のところを見ると利回り0%では毎月4.8万円の積み立てが必要ですが、利回り3%ならば2.2万円と半分以下でいいのです！2,000万円という、まとまったお金を作ることは大変なことですが、こうして分解してみるとゴールまでの道が見えてきます。無理なくコツコツと貯めて増やしていきたいものです。

5. 実際に始めるには？



ここまでの内容を踏まえて、「実際に始めるにはどうしたらいいの？」となった方は、どこの運用会社で積み立て投資をスタートするかを選ばなければなりません。いま現在、各銀行・信託銀行・証券会社など多くの金融機関で取り扱っていますが、異色な存在と言えるのは、「ユニオン投信」です。ユニオン投信は、「働く仲間と家族の幸せ」さらには、「私たちが暮らす地域社会の発展」を願い、営利とは無縁の労働組合が発起して設立した会社です。また、「手取り額の少ない勤労者がお小遣い程度で始められる」、「投資や資産運用の初心者にもわかりやすく丁寧な説明とサービスが提供される」という想いが込められています。未来への備え、夢実現に向けて一歩を踏み出す方はご検討に値する会社だと思います。もし、興味がある方は組合本部に資料をご用意しておりますので、ご遠慮なくお尋ね下さい。

※ユニオン投信ホームページもご参照下さい。

ユニオン投信

検索

